

# 令和5年度第1回不登校児童生徒支援連絡協議会記録

## 概要

道教委では、本道における不登校児童生徒への支援の充実に向け、学校職員、教育支援センターやフリースクールなどの指導員、教育委員会関係者等が400名参加し、説明や実践発表等を通して、不登校児童生徒に対する効果的な支援の在り方や各機関との連携策について理解を深める協議会を実施しました。

## 内容

### ○ 行政説明「不登校児童生徒が学びたいと思った時に学べる環境の整備について」

- ・不登校支援に係る国の動向
- ・本道の不登校児童生徒の状況
- ・本道の不登校支援に係る取組など

### ○ 実践発表「不登校児童生徒に対する学習支援や教育相談の取組について」

#### 【岩見沢市教育委員会における不登校支援】

- ・ピア・サポート、QUなどのエビデンスに基づく取組の推進、教育支援センター、登校支援室による支援



#### 【帯広市教育委員会における不登校支援】

- ・仮想空間（メタバース）を活用した支援「ひろびろチョイス」、オンラインだけでなくリアルでのつながりを意図的につくること



#### 【函館市教育委員会における不登校支援】

- ・校内サポートルームによる支援「いてもいい場所ネットワーク」、包括支援センターとの連携による経済的困窮が不登校の要因と考えられる子どもへの組織的な対応



### ○ 情報交流「フリースクールなど民間の相談・指導施設との連携について」

- ・当日参加いただいたフリースクールからの情報提供

## 参加者の声

- ・不登校児童生徒に関する現状や各市の取組発表は大変勉強になった。
- ・新たな発想で、子どもたちの未来にとって何がよく、どんな方法があるのかを考えるきっかけをたくさんいただいた。
- ・学校はもとより、関係機関等が連携し、様々な支援を工夫して実践していることが分かり勉強になった。
- ・限られた予算と人材で効果を上げていく工夫を出し合い、対応策を検討していきたい。